



2007
4
APRIL

おいし-OEC- ニュースレター

NO.9

NPO法人おきなわ環境クラブ

こんにちは。皆様お久しぶりです。今年最初になる「おいし-OEC-ニュースレターNo.9」が出来ました。昨年10月に発行した際は、大城逸朗新会長をはじめ、新職員が2人加わり、OECの組織が新しく変わりましたことをご報告いたしました。早いもので、あれからあっという間に半年が経ちました。新しい職員も、この半年間いろいろな事業に取り組む中で、そろそろOECの事業や業務に慣れてきたように思われます。

先日から4月に入り新しい年度に替わりしました。私たちも気持ちを新たにして、OECが更なる飛躍ができるよう、皆さんとともにがんばっていきたく思いますので、これからもどうぞ宜しくお願い致します。

今回のニュースレターは、OECのこれまでの半年間の活動紹介と共に、宮古島で新たな事業へと取り組んでいる「OEC宮古支部」の活動もご紹介したいと思います。

OECの活躍で美味しい水をいつまでも



私たちの宮古島には川がなく、地下水に頼って生活をしています。正直に言って、私が生まれた頃には、すでに水道は整備されており、あまり水に困ったイメージがありませんでした。そういうこともあって、子供のころは自然や水環境を大切にしようと言われたとき、海のことを思いながら育ちました。

そのような私が大人になり、自分に出来る「自然を大切にする」という行動は、「ごみを出さない」や「ゴミを拾う」、「草刈」や「植樹」など、自分自身が動く環境美化の活動が中心でした。また、私がOECに入会したのも、その植樹活動に参加したのがきっかけでした。OECが考える島や地域固有の在来種を大切にしようという考え、植樹をするにしても、地域の種を拾い、芽を出し、自分たちで育てた苗を使うという考えに賛同できたからです。

今、宮古支部では、子供たちにたくさんの環境プログラムを提供しています。子供吟行会では、私たちが予想もなかった反応がありました。また、保育園でのマングローブ観察会では、子供たちの愛らしい感性を見ることができました。私たち宮古支部も、プログラムを提供しながら参加者から学ぶことがたくさんあります。これからの活動は、宮古エコツアーガイドのみなさんと共に、宮古島に住む一人一人が自然と水を大事にしていつまでも美味しい水のなかで安心して暮らしていけるよう、楽しみながらも学びあういろいろなプログラムを展開していきたいと思えます。

NPO法人おきなわ環境クラブ
副会長兼宮古支部長 横山幸子



県立宮古少年自然の家で開催した「星空観察&サガリバナ鑑賞会」講師を務めた宮古エコガイドの砂川さん



川満マングローブで開催した「保育園マングローブ観察会」ガイドを務めた宮古エコガイドの山本さん



伊良部小学校での「マングローブ観察会と植樹」宮古エコガイドの菅原さんと川満さん

最近の活動(2006年10月～2007年4月)

助成金事業

地球環境基金助成(独立行政法人 環境再生保全機構)

- 12/9 平成18年度地球環境市民大学校「環境 NGO と市民の集い」出席 下地事務局長 場所:宮崎県立図書館
1/1 糸満市大度海岸でサンゴ礁における基礎的な環境調査の開始(継続)
1/13 宮古支部で宮古島のマングローブ希少種ヒルギダマシの育苗・苗床管理(継続)
1/17 「伊良部高等学校 施設見学事前学習会」講師:川満きよみ 場所:伊良部高等学校 人数:46名
2/13 「宮古島市むらづくり課 地下ダム施設見学」山本ゆかり先生 場所:地下ダム資料館、水位・水質監視施設 人数:2名

Panasonic & EFF 環境サポーターズ マッチング基金(松下電器産業株式会社)

- 3/27 最終報告会(シェアミーティング)出席 OEC 下地事務局長 場所:東京・パナソニックセンター

受託事業

沖縄県地域環境セミナー 毎月1回(沖縄県文化環境部環境政策課)

- 9/23 第6回「石垣島・名蔵アンパルの利活用と保全策」 場所:沖縄県立石垣少年自然の家 人数:22名
10/20 第7回「おきなわの植物入門」新城和治先生 場所:県庁4階第1-2会議室 人数:52名
11/17 第8回「沖縄のゴミの現状とマイバックキャンペーン」宮城寿満子先生、宮良弘子先生 場所:県庁12階第2会議室 人数:15名
1/20 第9回「ビーチコーミング入門(漂着物の話)」盛口満先生 場所:漫湖・水鳥湿地センター 人数:30名
1/26 第10回「琉球諸島を世界自然遺産へ」川満秀樹先生 場所:県庁13階 第1-2会議室 人数:24名
2/23 第11回「沖縄の身近な園芸植物 プーゲンピリアとハイビスカスの楽しみ方」比嘉正一先生 場所:県庁3階第1会議室 人数:32名
3/17 第12回「沖縄の危険生物」寺田考紀先生 場所:漫湖・水鳥湿地センター 人数:22名
3/22 第1回スキルアップセミナー「平成17年度公共用水域の水質結果で見る沖縄の水環境」
照屋直己・新垣ゆきの先生 場所:漫湖・水鳥湿地センター 人数:17名

地域環境センター・出前講座 毎月1回(沖縄県文化環境部環境政策課)

- 10/12 第6回「身近な植物のはなし」比嘉理先生 場所:普天間第二小学校 人数:102名
10/18 第7回「沖縄のゴミの現状と課題、リサイクルの取組みについて」宮良弘子先生 場所:真和志高等学校 人数:500名
11/7 第8回「城(グスク)のおはなし」屋嘉比柴紀先生 場所:うるま市与勝第二中学校 人数:70名
12/20 第9回「ピオトープについて」西江重信先生 場所:那覇市銘苅小学校 人数:210名
2/20 第10回「おきなわの世界遺産」屋嘉比柴紀先生 場所:浦添市立仲西小学校 人数:120名
3/27 第11回「ゴミの不法投棄問題について」仲地輝美先生、山口えりな先生 場所:沖縄市愛の泉子ども会 人数:60名
3/27 第12回「野生の生き物」藤井晴彦先生 場所:沖縄市あげだ児童館 人数:50名

地域環境センター・野外観察会 2ヶ月に1回(沖縄県文化環境部環境政策課)

- 9/23 第3回「親子で楽しもう 地域の自然 名蔵アンパル」谷崎樹生先生 場所:名蔵アンパル 人数:13名
12/9 第4回「漫湖ウォークラリー『第12回国場川水あしび』」 場所:漫湖水鳥・湿地センター、国場川河川敷:38名
2/24 第5回「那覇のまちエコツアー-首里周辺の湧水めぐり」保村亨先生 場所:首里周辺 人数:39名
3/21 第6回「大度海岸に行こう」吉田事務局次長 場所:大度海岸 人数:24名

地域環境センター(沖縄県文化環境部環境整備課)

- 3月 「ちゅら島守り隊」ホームページ管理運営を受託:「ちゅら島守り隊」チラシ作成

独立行政法人国際協力機構(JICA)沖縄国際センター

- 10/30-12/8 地域別研修 第1回 島嶼国漁村主導型水産業多様化促進コース 人数:10名
1/30-3/8 地域別研修 第1回 持続可能な観光開発(ミクロネシア3国) 人数:4名
4/3-6/15 集団研修 第4回 熱帯・亜熱帯地域におけるエコツーリズム企画・運営コース 人数:9名

自主事業(環境教育・エコツーリズム事業)・その他

- 10/25 沖縄OB会『世界遺産グスク紀行』ガイド:保村・屋嘉比・吉田(豊) 場所:中城城跡・勝連城跡・座喜味城跡 人数:124名
10/28 JTB 団体旅行『漢那ダム下マングローブ見学』 ガイド:保村亨 場所:漢那ダム 人数:22名
11/25-26 沖縄県アジェンダ21「県民環境フェア」 場所:沖縄こどもの国
12/12 平成18年度人材養成事業「屋久島ガイドセミナー」へ吉田事務局次長を講師として派遣
2/7 「伊良部高等学校 施設見学学習会」講師:川満きよみ 場所:友利あまがー・地下ダム資料館 人数:46名
3月 アクアプランターの解説プリントA4版 制作
4/7 第25回日中記者交流「首里城観光」(日本旅行主催) ガイド:保村亨 場所:首里城 人数:14名

～活動を少しでもくわしく紹介しましょうね～

県立伊良部高校1学年 施設見学学習会

進路選択学習の高校生を対象にした施設見学会は、宮古支部では初めての試みでしたが、講師を勤めた宮古エコツアーガイドと生徒たちは事前学習で意気投合。107段を降りる「湧水の友利天がー」や世界に誇れる「地下ダム資料館」の展示コーナーや資料等を間近に見て、ガイドの説明を受けた高校生たちは、「洗剤や農薬の使い方を工夫する」「自分でできることを考える」など今まで気がつかなかった身近な自然に素直な驚きと感想を述べてくれました。これからも、自分たちの目線で宮古島の自然を見つめ、感じてほしいと思います。



沖縄県アジェンダ21 県民環境フェア

平成18年11月25・26日の2日間にわたって沖縄市の子ども国で開催され、行政や公益団体、NPOや市民団体、民間企業など約20団体が環境に関する啓発活動や、エコグッズを紹介しました。

私たちの展示ブースでは「水辺の植物」を切り口に、OECのモットーとして『環境と自然の保全は足元から！』を軸として、自主・受託・助成金の三つに分けた活動紹介をしました。また、実際に触れられる「海辺の漂着物コーナー」や「アクアプランターお絵かき体験」など、参加者が楽しく参加出来るコーナーを設け、2日間ともたくさんの方で賑わいました。(TV取材も受けましたよ)

第6回沖縄県地域環境セミナー・野外観察会 『名蔵アンパルの利活用と保全策について』

石垣島にある「名蔵アンパル」は、2005年7月に国際的な水鳥の生息地等に関する「ラムサール条約」に登録されました。そこで2006年9月23日、石垣島(沖縄県石垣少年自然の家)で初めての地域環境セミナーと名蔵アンパルでの野外観察会が開催されました。

セミナー最後の質疑応答では、今回のテーマについて参加者から、「これからは、市民と行政が一体となり持続ある活動をしていかなければならない」と、意識の高い発言が相次ぎました。セミナーの後に引き続き開催した野外観察会では、大きなオキシジミやシオマネキなどが観察できました。参加者から「普段慣れ親しんでいる場所だけど、知らないことがたくさんあった」「親子で新鮮な再発見があった」、「楽しかった、またやって欲しい」との嬉しい声をもらえました。



第10回沖縄県地域環境センター出前講座 『おきなわの世界遺産』

総合学習で沖縄の世界遺産を勉強しているという、浦添市立仲西小学校5年生の出前講座へ行ってきました。

講師の方が、世界遺産の種類や現在登録されている数を説明し、首里城と識名園について詳しくお話してくれました。「琉球王朝時代では、役人は位くわいによって冠の色を区別していた」「シーサーが口を開いているかいないかでオス・メスの区別はない」などと、細かい説明に生徒たちは熱心に聞き入っていました。生徒からは「沖縄に住んでいるのに意外と知らないことがたくさんあった」との感想があり、沖縄の歴史と文化の学習を通して、自分たちが生まれた「沖縄」について改めて考えるきっかけにつながったことでしょう。

JICA 地域別研修 『持続可能な観光開発(ミクロネシア3国)』

今回の研修は、ミクロネシア連邦ヤップ州・コスラエ州、パラオ共和国の観光行政にたずさわる行政官4名を対象に、観光振興基本計画の作成をはじめ、官民の協力体制や仕組み作り、観光資源の保全のあり方、そしてそれらを担う人材の育成を目的に実施されました。カリキュラム作成においては、琉球大学法文学部観光科学科に技術協力をいただきました。沖縄国際センターでの講義をはじめ、沖縄本島を中心に県市町村行政機関、外郭支援団体、ホテルや旅行業の民間団体、地域のNPO・NGO団体など、約30におよぶ団体や視察先を訪問し、活発な意見交換をかさねながら、島嶼地域の共通課題と解決策について一緒に勉強をしました。みなさまの協力に感謝するとともに、JICA研修員の受入が沖縄の観光振興と環境保全にとって、新たな布石と飛躍につながる第一歩になったと確信しています。



宮古エコツアーガイド VOICE

「マングローブって何?」「この花の名前は?」など、質問に答える事が出来なかった時、私がまだまだ勉強不足だな と感じる瞬間でした。

現在は産休の為、お休みをいただいておりますが、私は宮古島でバスガイドに従事しています。宮古島は、毎年たくさんの県内外のお客様が癒しや自然を求めて御越しいただいておりますが、ご案内している際に、先ほどのような質問に適切に答えることができないときがありました。私がエコツアーガイドになりたいと思ったきっかけはそんな出来事があったからです。



ガイドをして感じた事: 観光でお越しいただいたお客様はもちろん、島に住む子供達にも、自分の生まれ育ったこの島のよさを知ってもらうことが一番大切だと思っています。

最後に一言: この島沖縄は「宝の島」です。私はこの島の歴史や文化・自然等をもっともっと知識を深め、これからの未来の子供達やお客様にガイドをしていきたいと思ひます。

(宮古エコツアーガイド: 山本ゆかり)

沖縄県の花

和名: デイゴ マメ科
 学名: Erythrina variegata
 方言: ディーグ
 薬効: 葉や樹皮を乾燥させたものが腹痛や下痢に効果があると言われている。



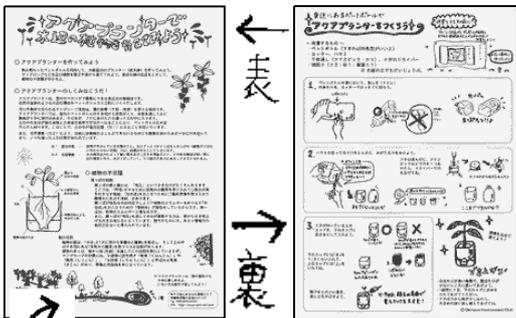
4月~5月頃に咲き、沖縄では、デイゴの花が咲くと、初夏だと言われている。
 インドか東南アジアが原産とされており、熱帯、亜熱帯に広く分布し、沖縄には1700年代に入ってきたと言われる。花言葉は、「夢」。
 デイゴが早く咲くと(または多く咲くと)台風の当たり年だと昔から言われるのだそう。
 さて今年は何個の台風がやってくるのでしょうか。

今後の主な予定

- 沖縄県地域環境センター(2007年4月~8月)
- 5月 第13回 地域環境セミナー
「ISO14001 環境マネジメントシステム」
場所: 県庁講堂
 - 6月 第7回 野外観察会「おきなわの干潟観察」
場所: 南城市シュガーホールと佐敷干潟
 - 7月 第8回 野外観察会「夜のサガリバナ鑑賞会」
場所: 県庁構内
第9回 野外観察会「水生生物調査」
場所: 名護市平南川
 - 8月 第15回 地域環境セミナー「夏休みの植物観察」
場所: 那覇市末吉公園
第10回 野外観察会「宮古島の湧水と地下ダム資料館」
場所: 友利あまがー・地下ダム資料館

OEC からのおいしーお知らせ

「水辺の植物」が空ペットボトル(2L角)を使って簡単にお家で作れちゃう「アクアプランター」の解説図つきA4(裏表)を只今20円でお配りしています。



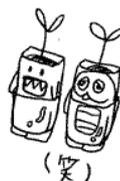
ここが違う!
 簡単に作れても、ただのハイリフレプランターではない。ミツバがあります! 今までにはない「三重構造」が大きなメリット!! 一体その仕組みはどうなっているのか...?



やっぱりミツバが1番成長も楽しみになりますよ



色をぬったり、絵を描いてオリジナルプランターも作れますよ! 親子で工作が楽しめますよ! 😊



開催内容は都合により変更することがあります。詳しくは、下記までお問い合わせください。
 沖縄県地域環境センター(県庁4階) TEL: 866-2638
<http://www.i-okinawa.ne.jp/people/kankyo-center/>

- JICA 研修事業
- 8月頃(約1.5ヶ月間) 第2回持続可能な観光開発(マイクロネシア3国)コース
 - 10月頃(沖縄: 約2週間、フィジー: 約1ヶ月) 第2回島嶼国漁村主導型水産業多様化促進コース

(今年度もホムレ-ジからの情報発信を
 していきたいと思ひますので、OECも沖縄県
 地域環境センターHPもチェックをお願いします!)

OEC(おいしー)ニュースレター No.9 2007年4月発行
 特定非営利活動法人 おきなわ環境クラブ 国場事務所
 〒902-0075 沖縄県那覇市国場370-107
 Tel. 098-833-9493, Fax. 098-833-9473
 E-mail: kokuba@npo-oec.com
 URL: <http://www.npo-oec.com/>

特定非営利活動法人 おきなわ環境クラブ 宮古支部
 〒906-0301 沖縄県宮古島市下地字川満1026
 Tel & Fax 0980-76-2696
 E-mail: oec-m1@miyako-ma.jp